

昭和55年8月26日第三種郵便物認可 平成元年9月20日発行(毎月1回20日発行)

ともえ

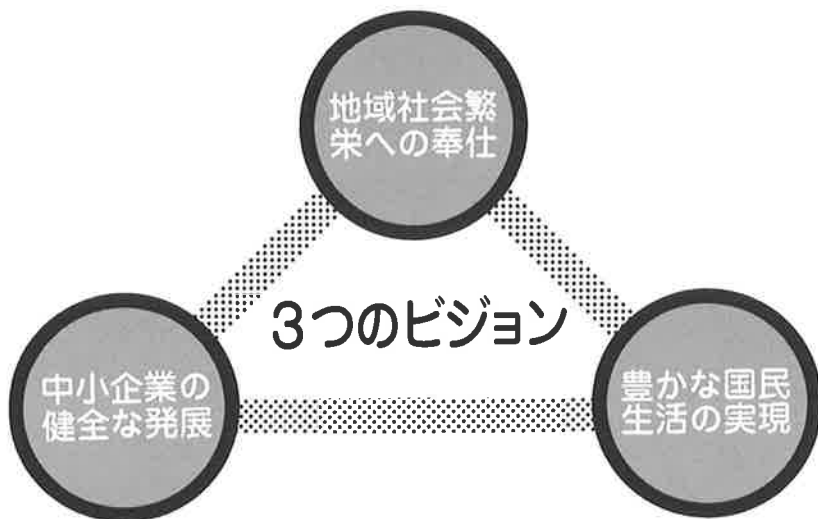


行動する
はつらつたる
商工会議所



函館ハリストス正教会 (重要文化財)

No. 101 函館商工会議所報
1989 — 9月号



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

 **はこしん**
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521代			

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
寄 稿 文	10
共済推進コーナー	12
テイータイム	13
アドバイスコーナー	14
Q & A	16
情報コーナー	18

◇表 紙

函館ハリストス正教会

(国指定の重要文化財)

安政六年(一八五九)ロシア領事館付属聖堂として建造され、その後の大火等で焼失したため大正五年に現在の建物が建造される。

ハリストスとは、ギリシヤ語でキリストの意味。

●視 点

九月も終りに近づきましたが、どうも近年の天候は異常の度合いが強いです。

特に今年は冬の少雪に加え、七月に入ると雨が殆んど降らず、おまけに日中の最高気温が二十五度を越すいわゆる夏日が三十九日間も続き、気象観測史上始めての記録を残しましたが、そのあとの八月末からは連日雨模様の梅雨みtainな天気が続いており、冬が必配されています。

ところで今、当商工会議所では会員増強運動を実施しており、議員、職員のご協力により、着々とその成果も上っています。まだ目標には達していません。

昭和六十二年以来の経済の拡大、活性化に伴い、商工会議所としての活動範囲も拡大してまいりましたが、この状況を維持していくには、将来に向けての長期にわたる諸事業を効率よく推進していく必要があります。そしてこれら事業の推進のためには、財政基盤がしっかりしていなければならぬことは申し上げる迄もないことです。会議所が十分その機能を果たしているまちは、活性化しているまちともいえると思います。また、会員の方々にとつては、会議所の会員であることが一つの信用登録といえましょう。会員として加入することにより受けられるメリットは多数項目にも及びます。会議所では、会員加入のおすすぬというパンフレットも用意していますので、会員各位におかれましては、函館経済活性化のために、新しい会員を一人でもご推せん下さるようお願いいたします。

会議所の動き



第24回東北・北海道商工会議所連



第24回

東北・北海道商工会議所連絡会議 「東北・道新幹線建設促進などを議案を決議」

北海道と東北六県の商工会議所が一堂に会し、両地域の相互交流を深めると同時に、経済発展に寄与することを目的として毎年開催される東北・北海道商工会議所連絡会議は、昨年の当市での開催に続き、去る九月十三日、秋田市で四十二の会議所から会頭、副会頭

など約百八十人の方々が参加、本所からは川田会頭、高野副会頭、平野専務理事が出席しました。

本会議では、地元東北六県商工会議所連合会の氏家会長（仙台商工会議所会頭）を議長に選出して議事に入り東北側からは四議案、本道側から三議案が夫々提案、次の如く審議されました。

本会議では、地元東北六県商工会議所連合会の氏家会長（仙台商工会議所会頭）を議長に選出して議事に入り東北側からは四議案、本道側から三議案が夫々提案、次の如く審議されました。

(一) 東北・北海道新幹線の建設促進ならびに鉄道交通網の整備促進について (東北側)

(二) JR青森・函館間の快速列車運行時間の短縮と全線複線化の促進について (本道側)

(三) 東北・北海道縦貫横断自動車道の建設促進ならびに道路網の整備促進について (東北側)

(四) 東北・北海道の空港ならびに航空網の整備促進について (東北側)

(五) 北海道東北開発公庫の機能の拡充強化について (本道側)

(六) 地域開発の促進と企業誘致の推進について (東北側)

(七) 北方領土の返還要求運動の促進について (本道側)

(二) については、本所川田会頭から昨年四月には四全総に示された青函インターブロック交流圏構想に基づく協議会が設置され、本年六月には交流圏計画を策定、さらには青函ツインシティ及びツイン商工会議所等の締結がなされ、行政をはじめとして広い分野に亘り活発な交流が図られつつあり、この計画をより具体的に推進するには今後の青函間の交流はもとより、本州と北海道間の交流拡大が望まれ、そのためには東北・北海道新幹線の早期実現はもちろん、JR青森・函館間の時間短縮と全線複線化による輸送力の大幅な増強を強く要望して行かねばならない旨の提案説明がなされました。

これら議案については、審議の結果、いずれも満場一致で採択決議され、関係諸機関への陳情要望が決定しました。

本道の発展を約束

阿部大臣・北東公庫副総裁相次ぎ来所

この度の海部内閣誕生を受けて新たに入閣を果たした阿部文男国務大臣（北海道・沖繩開発庁長官）が、去る八月九日日本所を訪問し、正副会頭と当地域が抱える諸問題について活発な意見交換を行いました。



△阿部大臣と懇談する川田会頭

阿部大臣は、昭和三十三年以来本所の議員（北海道輸出入協同組合理事長）として、当地域の経済発展のために活躍される一方、昭

和四十四年の衆議院北海道三区での初当選以来、地元選出国會議員として「テクノポリス建設促進」や本年七月の「函館空港の函館・東京線ダブルトラックキング実現」など、当地域発展のための施策の推進についてご尽力戴いております。

懇談ではまず、川田会頭から大臣就任のお祝いを申し上げた後、大臣からは道開発庁長官として本道の発展はもろんのこと、当地域の懸案となっている高速交通体系の整備や北東公庫の本店移転候

補地に当市が決定した経緯などについて説明がなされ、今後も懸案事項を積極的に推進して行く旨の力強い発言がありました。

また、去る九月一日には、新たに青函両市での事務所開設が来月に迫った「北海道東北開発公庫」の池田寿男副総裁が本所を訪れ、函館事務所開設に当たってのご挨拶のほか、今後とも経済界との緊密な連携のもとに、地域と一体となった多くのプロジェクトの実現を目指したいとの発言がなされ、本所からも、当市への同公庫の本店移転のためのご努力を強く要請いたしました。

道通産局発足記念事業

「トーク・イン・ホツカイドウ函館」懇談会開催

北海道通産局と本所の共催による「トーク・イン・ホツカイドウ函館」懇談会が、去る八月二十九日、五島軒駅前支店において開催されました。

同懇談会は、七月一日より新たに名称を「北海道通産産業局」と改め、組織の新設と改編を行ったの

を機に、道内各地域の経済活性化の状況を把握し、今後の通産行政施策に反映させたいとの観点から、道内五カ所開催予定のトップを切っけ行われたものです。

当日は、当地域側から安井函館市助役をはじめ本所の正副会頭や六部会長を含む二十人余が出席、

通産局側からは中尾局長をはじめ十人余が出席して、当地域活性化への活発な意見交換を行いました。

懇談では、地域を代表して本所川田会頭から歓迎挨拶と当地域の経済概況の説明がなされた後、函館経済圏の活性化のためには、高速交通体系の整備促進をはじめテクノポリス計画の推進等を柱とする経済基盤の確立、そしてそれら施策の推進に不可欠な人材の育成などが何よりも重要である旨のプレゼンテーションがなされ、通産局側からは、今後の当地域活性化のために必要なテクノポリス函館の実現に向けた研究開発機能の充実など通産施策についての説明があり、出席者からは当市の観光振興についての諸対策や、二次産業の振興を踏まえた異業種交流の現状など、夫々の立場からの取り組み状況の発表がなされ、併せて今後の地域活性化のための方策について積極的な意見が述べられるなど、同懇談会は通産当局に当地域の各業界の抱える問題点や今後の課題を提言した良い機会となりました。

第三回 青函圏特別委員会開催

青函トンネル開業を契機に、青函経済圏の発展をめざし、調査、研究を目的に設置された同委員会の第三回会議が去る八月二十一日開催されました。

青函インターブロック交流圏計画の策定を期にツインシティ、ツイン商工会議所の締結も進められる中で、青森・函館ツインシティ交流事業計画も策定されましたが、当所としては、函館・青森両商工会議所ツイン協定に伴う主要事業については青森側との協議の上、具現化をはかることになりました。主要事業についてはすでに計画・実施されているものもあります。そのうちの「観光事業の推進」では、本年九月二十六日から開催されるヨーロッパ最大の文化・芸術の祭典、ユーロパリアジャパン'89（日本祭）に青森ねぶたの参加が決定し、このため函館、青森から約三百名の市民が参加することになりました。また、「産業、振興を図るための諸事業への協力、

支援」では八月に実施された、両市商店街の共同大売出しの開催等の事業が実施されています。

また、今後の検討課題としては、広域観光ルートの形成、教育、文化、交流の推進、青函海洋開発の推進、新たな港湾空間の創造、青函トンネルの有効活用及び、津軽

他商工会議所との交流が一層盛んに

去る九月七日、横浜商工会議所の運輸倉庫部委員会一行が、道内各地の港湾施設等の視察のために当市を訪れ、当市並びに本所港湾関係者との懇談会が市役所会議室において開催されました。

懇談会には、横浜側から笹谷委員長をはじめ十五名が、函館側からは熊田函館市港湾部施設課長や本所の斉藤運輸港湾部会長、日野運営部長を含む五名が出席しました。

懇談に先立ち斉藤部会長から函

海峽線の時間短縮などがあります。が、これらについては両青函圏特別委員会の合同委員会を年二回程開催する中で実現に向けて協議を進めていくこととし、十月二十四日に合同委員会の初会合を青森市において開催することを決定致しました。

尚、この会合には本所から川田会頭も出席を予定しております。

館港の現況説明を含めた歓迎挨拶があり、次いで笹谷委員長からは「当委員会では、毎年各地の視察見学会を行っており、今年は道内の港湾施設等を視察することとした。横浜と函館とは同じ港町として似通った歴史を辿るなど、以前から親しみを感じていたが、今後もう少し機会を捉えて活発な交流を図っていきたい。」との挨拶がなされました。

その後、市の熊田施設課長からは、函館港の歴史や運輸省が進め

ている港湾再開発調査事業「ポートルネッサンス21」に基づく二十一世紀を指した函館港の整備方針などについて詳細な説明がなされた後、質疑応答に入り、横浜側から湾岸道路とウォーターフロントの関り合いや倉庫の利用状況等の質問も出されました。

懇談終了後、一行は函館山展望台から港湾施設等を視察しました。なお、視察団一行はこの後、苦小牧港及び石狩湾新港の港湾施設等を視察する予定とのことです。

また、去る九月十三日には茨城県の日立商工会議所より常議員並びに小規模企業振興委員一行十八名の視察研修団が来所しました。

本所から石川所長ほか、振興委員五名を含め十三名が出席し、両会議所の振興委員の活動状況を中心とする相談業務の推進について活発な意見交換が行われたほか、両市の産業構造の違いや地域活性化も話題となり函館市の発展経過と青函インターブロック交流圏構想への取り組みを説明するなど相互理解を深める大変有意義な懇談となりました。

事務局日誌 8 月

***委員会**

21(月) 青函圏特別委員会

***正副会頭会議**

14(月) 第25回正副会頭会議

29(火) 第26回正副会頭会議

***会議(道商連)**

28(月)~9月1(金) 経営指導員研修会(地域近代化の指導法)

***審査会**

14(月) 小企業等経営改善資金の審査会

30(木) " "

***諸会議**

4(金) 第2回函館市都市計画審議会

7(月) 婦人会役員会

8(火) 共済制度事務連絡会議

11(金) 第4回函館市社会福祉懇話会

〃 函館都心商店街振興組合第8回近代化推進委員会

12(土) 中島荘牛氏並びに石井市議会議員との懇談

14(月) 函館情報技術開発センター取組役員会

15(火) 第1回函館市ふるさと創生事業市民懇談会

18(金) 函館市競輪運営協議会

〃 第4回(仮称)湯川マリナーパーク建設設立検討準備会

21(月) 函館販売士協会理事会

22(火) 第2回函館市ふるさと創生事業市民懇談会

〃 函館港まつり第5回企画委員会

〃 箱館奉行所復元促進期成会総会

25(金) 函丸井今井今井春雄社長との懇談

〃 (仮称) 函館観光ホスピタリティモデル地区推進協議会

〃 国民金融公庫函館支店「管内指導員研修会」

29(火) 北海道通商産業局発足記念事業「トーク・イン・ホッカイドウ・函館」懇談会・懇親会

〃 婦人会役員会

30(水) 所報「ともえ」No.101(9月号)編集会議

31(木) ユーロパリア'89日本祭函館実行委員会(第3回)

***講習・催物**

2(木) 第1回「道南口説」全国大会

2(木)~7(月) 「祝 青函ツインシティあおもり・はこだて特産品まつり」

3(木) 桑友会講演会「函館経済の現況と今後の見通しについて」

6(日) 第18回函館市勤労者ソフトボール大会

9(木) 経営相談

10(木) 函館信用金庫、函館地方法人会「税制特別講演会」

11(金) 大蔵省「財政金融講演会」

22(火) 法律相談

23(木) 発明相談

25(金) 市街地再開発セミナー

***検定試験**

27(日) 4級ワープロ検定試験

***刊行物**

23(水) 所報「ともえ」No.100(8月号)発行

***相談・診断**

金融	135	税務	47	経理	39	経営	274
労働	8	取引	1	その他	0	計	504

***貸室** 本館 26 別館 5

***文書受信** 256 発信 22

***慶弔・その他**

1(火) 「市の魚」制定式

〃 平成元年度函館市功労者表彰式

〃 函館市「国際観光都市宣言式」

〃 開港130周年記念函館港まつり開会式

〃 婦人会「函館港まつり一万人踊りパレード練習会」

3(木) 函館港まつり協賛会役員のパレード参加並びに開港友好・5都市ミスと青森ねぶた歓迎のための交流レセプション

〃 開港130周年記念函館港まつり一万人踊りパレード

4(金) " "

8(火) 函グリーンエステート、函西洋環境開発「函館市優良再開発事業建築物整備促進事業起工式」

〃 年金共済優良社員表彰式

9(木) 東北新幹線岩手トンネル着工祝賀会

10(木) 旭川商工会議所創立70周年記念式典・講演会・記念祝賀会

11(金) 金森美術館オープニングレセプション

16(水) 藩陽鉄西改造国際経済技術合作商談会・夕食会

18(金) 函エアーニッポン社長並びに常務取締役表敬訪問及び夕食懇談会

〃 青函ツイン提携記念大門・五稜郭連合大売出し抽選会

23(木) 新都心五稜郭協議会夏期例会・懇親会

26(土) 青函東ロータリークラブツイン協定並びに昼食懇談会

65年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 10月18日 水曜日午後1時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

で対処する向きがみられる。また漁網では、定置網の更新需要を映じてますますの生産水準を確保している。

(4)建設関連

管内主要官庁の公共事業発注額（7月分）は、6月以降の発注促進化を映じ前年比大幅増加をみており、期中累計でも前年を上回る水準まで回復（主要5管庁の7月末発注累計額前年比+3.6%）。また民需も、建設業者が受注消化に追われるなど好地合いを続けており、鋼材等建設資材の荷動きも引き続き活発。

(5)農 業

農作物の生育状況（渡島・松山支庁調べ）をみると、馬鈴薯等が「やや不良」となっているものの、7月中旬以降好天に恵まれ、主力水稻や豆類が「平年並み」まで回復している模様。

(6)漁 業

近漁マイカ魚は、魚群の来遊から前年を大幅に上回る水揚げを記録。この間、平均魚価は豊漁等を映じて前年を3割方下回る水準。

(7)消費関連

7月の市内大型小売店（10か店）売り上げは、暑気到来、夏季ボーナスの支給増等を背景に主力衣料品、身回り品等が順伸したほか、法・個人ギフトも堅調な売れ行きをみたことから、全体では4か月振りに前年を上回った（前年比+6.7%）。8月入り後も、夏物衣料品を中心に引き続き順調裡に推移している模様。一方、耐久消費材では、自動車販売が高級乗用車等を中心に高い伸びを続けている（7月中の管内新車販

売台数前年比+7.0%）ほか、家電出荷額も大型カラーTV・冷蔵庫、カメラ一体型VTR等値嵩商品を主体に伸びを高めている。

この間、夏場観光動向をみると、当地への入込み客は青函博等で賑った前年を幾分下回っている模様ながら、各種観光振興策の効果もあって、引き続き高水準を維持しており、ホテル・旅館筋等関連業界では繁忙感を呈している。

3. 金融事情（7月中）

○実質預金は、公金預金や金融機関預金の剥落等から月中34億円の減少（前年は月末休日に伴う高止り要因から月中76億円増。）この間、小口MMCは今次ボーナス預金を中心に順調に増加。一方貸出は、好景気を映じた増運・設備資金やボーナス資金需要の堅調推移等から月中31億円増となったが、増加幅は預金同様月末休日高止まり要因等から大幅増加を示した前年（81億円増）を下回った。

管内銀行の貸出約定平均金利は、新短プラへの切替え進捗や長プラの引き上げ（7/3日、5.7%→6.0%）等から、月中+0.089%と4か月連続の上昇となった。

○銀行券は、公務員ボーナスや観光・レジャー資金の順調な還流等を背景に、月中108億円的大幅還収超となった（前年同130億円）。

○財政収支は、公共事業関係費の支出増にもかかわらず、租税、保険等の受入れが多額に上ったため、月中56億円の受超となった（前年同68億円）。

3月



—— 日本銀行函館支店 ——

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、内需堅調を背景に、企業の売り上げ、収益は増収・増益基調をより確かなものとしており、設備投資も稼働率の上昇等を映じて一段と増加するなど、管内景気は好調裡に推移している。

○すなわち、製造業では、半導体、水産加工、乳製品等が旺盛な需要を背景に繁忙感を強めており、新たに能力増強投資を企図する先もみられる。また、合板、段ボールがフル操業を続けているほか、造船も新造船の建造着手等から稼働率を引き上げている。一方、非製造業では、建設関連筋が豊富な受注残を抱え納期に追われる先が少なくないほか、百貨店売り上げは季節商品等を中心に、また耐久消費財は値嵩商品を主体に、それぞれ好伸をみている。また夏場観光も、各種振興策の効果もあって高水準の入込みを続けており、活況を呈している。

○7月中の金融動向をみると、預金は、ボーナス預金が総じて順調に増加したものの、

公金・金融機関預金の剥落等が響き、純減。一方貸出は、増運・設備需資の堅調推移等を背景に増加。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、新短プラへの切替え進捗等もあって4か月連続の上昇をみている。

2. 主要業種別動向

(1) 機械

電子部品をみると、半導体では引き続き繁忙感を強めており、OA機器等の旺盛な需要や収益好転を背景に設備投資計画を上方修正する動きがみられるほか、水晶振動子でもパート採用等により生産ラインを順調に立上げている。また造船も、新造船の建造着手に加え修繕船の受注増加等から、漸次操業度を引き上げている。一方、一般機械（合板・製缶）では、受注残消化によりまずまずの生産水準を維持している。

(2) 食料品

水産加工では、夏季レジャー関連需要等の盛り上がりを背景に出荷が好調に推移しており、原魚手当の順便化とも相俟って増産姿勢を強めている。乳製品でも、飲用乳の売れ行き好伸等を背景にフル操業を続行。また、飼料・魚油では、魚油（輸出）が引き続き純化傾向にあるものの、主力飼料は安値原魚が潤沢なこともあって高操業を維持している。

(3) その他製造業

合板は、需給改善に伴う市況強含み推移等から、また段ボールは、本格シーズン入りに伴う青果物（馬鈴薯、大根等）、水産加工向け受注増加から、それぞれ前年を上回る生産・出荷を堅持しており、時間外操業

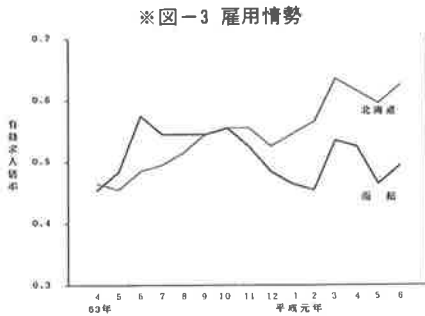
②新車登録台数

第1四半期の函館管内新車登録台数は、8,498台で前年同期に比べ9.1%の増加となり物品税廃止により好調な売れ行きをみせている。

車種別では、貨物・その他が1,031台で前年同期比17.7%の減少、軽自動車も1,780台、同8.4%の減少に転じているが、普通乗用車が5,687台で同23.9%の増加と好伸している。

4. 雇用情勢

第1四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は月平均有効求職者数（常用）が7,340人



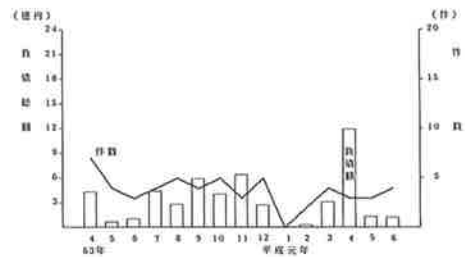
注:上記求人倍率は新規学卒を除きパートを含む。

で前年同期に比べ1.1%増加、月平均有効求人（常用）は3,270人で同0.5%減少し、有効求人倍率は0.45倍と前年同期並。

5. 企業倒産

第1四半期の函館管内企業倒産（負債額1,000万円以上、内整理含む）は10件で前年同期より4件減少、負債総額は14億3,000万円と同8億3,000万円の増加となった。

※図-4 企業倒産状況



統計資料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高（10店） 平成1年7月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,420,657	129.1	111.3
身回品	584,880	111.0	112.5
雑貨	688,454	114.5	110.5
家庭用品	734,656	127.8	103.1
食料品	1,923,990	125.5	97.5
食堂・喫茶	187,679	117.4	100.8
サービス	104,617	113.5	96.1
その他	715,170	143.2	110.3
総計	8,396,103	126.0	106.6

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

(平成元年4～6月期)

函館地域の
経済動向

平成元年度第1四半期の函館管内経済動向は、国の予算成立の遅れから公共事業が前年実績を下回っている中、消費税導入により個人消費面で大きな変化がみられたが、個人住宅・店舗拡充などの設備投資が引き続き活発なことに加え、観光客の入込みも好調で、サービス業・製造業を中心に人手不足が心配されている。

1. 公共事業発注状況

平成元年度の函館管内公共事業関連予算額(年度当初予算)は、総体で約828億円で前年度(約778億円)より約6.4%の増加。

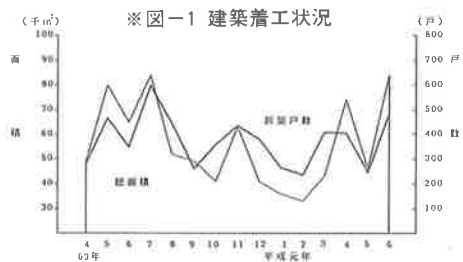
また第1四半期迄の実績は平成元年度より発注額に消費税が含まれているため、一概に比較できないが発注額437億7,600万円で前年同期(454億4,400万円)に比べ16億6,800万円の減少、発注率は52.9%(前年同期58.4%)となった。

機関別にみると、函館開発建設部が263億5,000万円、発注率64.3%で前年同期(270億6,800万円、70.7%)より7億1,800万円下回る実績。函館土木現業所でも発注額が140億2,500万円、発注率51.5%と前年同期(141億9,500万円、51.3%)を下回った。函館市では発注額が34億100万円、発注率17.8%と前年同期(41億8,100万円、34.0%)より下回り、今後の進捗が期待される。

2. 建築着工状況

第1四半期の函館市内建築着工状況は、建築物面積合計が203,332㎡で、前年同期に比べ5.0%の増加、うち住宅部分床面積は118,967㎡で同9.1%の増加と堅調に推移している。

住宅総戸数は1,222戸で同2.9%の増加、うち新築住宅が1,134戸、同3.1%増となり、内訳は持ち家が535戸(前年同期比23.3%増)、借家476戸(同3.4%減)、その他123戸(同28.9%減)となり、個人住宅の好調が窺われる。

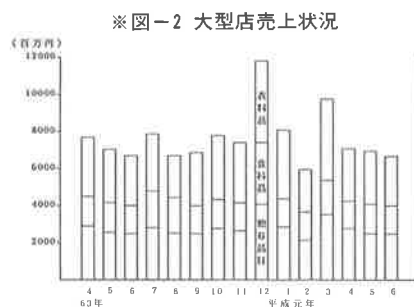


3. 個人消費

①大型店売上高

第1四半期の函館市内第一種大型店売上高(ニトリ家具を除く、消費税分を除く)は、四半期総額で206億9,429万円、前年同期比3.4%の減少と、62年度第2四半期以来減少傾向に転じた。

品目別では、物品税廃止で大型AV製品、宝飾品が好調の雑貨が20億2,140万円で同7.3%増加となったほかは、衣料品83億5,974万円、同4.3%減、家庭用品18億9,429万円、同8.9%減と消費税導入の影響が現れている。





中小企業が海外進出するには ロビンソン・クルーソー的な人が適任

―派遣社員、現地労働者の問題について―

労務コンサルタント 新井洋

海外に進出する企業にとって、赴任する社員、さらには現地における労働者のさまざまな問題、つまり「人」にまつわる課題こそ最大の関心事である。そこで、本稿においてはそのいくつかのポイントについて、次に述べてみることにする。

一、派遣社員の選定とオリエンテーション

①選定の基準

派遣社員は、まず心身のタフネスぶりが要請される。持病持ちが当然敬遠するとして精神的にもしたたかな強さと楽天的な性格がなければ通用しない。着任したその日から、カレンダーに〇印をつけて帰国の日を待ちわびるなどはとんでもない精神状態といわねばならない。台所にクギ一本打つにも鼻唄まじりに楽しくやっつてのける、ロビンソン・クルーソーのような精神性が大切なのである。

また、金銭感覚が乏しく公私混同を平気でやらかしたり、酒ぐせの悪い者は必ずといってよいほどトラブルを引き起こし長続きがしない。さらに、他人をアテにすることなく自分から進

んで何事もやっつてのける自立性と自助の精神の持ち主が適格といえよう。

②心構えとオリエンテーション、研修

派遣社員に対しては、外国にあつては自分は「外国人」なのだという自覚をしっかりとたせることが必要である。そのようなケジメとワキマエがない場合には、トラブルを起こしたり、非常識だとはじき出されたり、あげくのはては日本人仲間だけのムラを形成してしまう。

また、赴任前のオリエンテーションは必ず行うべきで、とくに冒頭、会社の海外進出についての基本方針と見通しを責任ある立場の者がきちんと説明をして、確信と安心感をもたせて赴任させるべきである。その他、家族を含めた語学研修や、先任社員の体験談などが実務研修以外に大切になってくる。

二、派遣条件の決定

①海外赴任規程の作成

赴任規程を作成することは不可欠の要件である。引き続き赴任する社員のためにも、条件を明記しておくことが、派遣を合

理的に円滑に進行させることにつながる。

② 個人別の派遣契約

全体としての規程が存在しても、個別の派遣条件はさまざまであり、やはり個人別にその具体的な条件を明記した契約書を交わすことが、会社に対する信頼にもなり、安心して海外で活躍することのできる裏付けともなるのである。派遣社員の条件には、帰国後の処遇をも含めた、全社的立場からの国際的人事戦略といったものが大切で、帰国後の社員が浦島太郎にならぬよう留意すべきであろう。

三、現地人労働者の雇用

① 採用に際しての注意

外国人労働者を採用するにあたって、現地人マネージャーを同席させ面接するなどの配慮が必要で、さもないと誇大な自己宣伝に惑わされ、適正な採用ができないといった欠陥が現れる。また、米国などではとくに「差別」に対する法的規制が厳しい。男女別、人種、民族、宗教、年齢など各種の差別規定が存在し、その実効も厳然としているので注意しなければならない。

② 現地における労務管理

まず、外国人労働者の「仕事」に対する感覚が日本と非常に異なる事実を認識することから始めないと、みじめな思いをする結果となる。つまり、「現在の仕事は次の仕事のための踏み台」と割り切っている点である。

次は「契約」の概念がきわめて発達しているため、常に労働条件をはじめ指示命令に至るまで明確でなければならない。「あ

いまい」や「玉虫色」は許されない。したがって、会社規則なども実情に合わせてきわめて具体的に記載することになる。

さらに、現地の慣習、風俗などを理解し重要視して管理をしないととんでもないギャップが労使間に生じてしまう。いわゆる日本の労務管理なども、最初から通用すると思つたならば大間違いで、徐々に積み重ねていくなかで部分的に適用される場合があるといつて過言ではなからう。

四、労働事情と対日感情

① 労働条件と労働組合

現地の労働条件は、各国別に、米国では州によっても異なる。アジア諸国では労働基準といつても努力目標程度の国も少なくないが、いずれにせよ千差万別である。そこでもうひとつ、労働組合の存在を忘れるわけにはいかない。とくに欧米に進出する場合は、現地の対応する産業別組合、あるいは職能別組合の状況をあらかじめリサーチするくらいの周到さが必要であろう。

② 対日感情のとらえ方

現地の対日感情は一樣でない。要するに「ある国にとって、そのとき、日本が利益をもたらすか不利益をもたらすか」が基準となつて反日にも親日にもなる。また、その国の政府の対日感情、その地域の対日感情、自分の会社の従業員の対日感情、それぞれのレベルによつても各国別に異なるので気をつけねばならない。

制度紹介

生命共済制度

この制度は商工会議所と委託生命保険会社と締結した災害保障特約付団体定期保険契約

に基づき運営され、安い掛金で、不慮に備えた生活保障ができるすぐれた内容をもった制度です。

◎制度の特色

- ・安い掛金で高額保障。
- ・加入年齢に関係なく掛金は一律。
- ・現在、正常に勤務していれば診査なしで加入できます。
- ・1年ごとに収支決算を行ない剰余金が生じた場合、配当金としてお返しします。
- ・掛金は全額損金または必要経費に算入できます。

保障額と掛金

□ 数	保障内容		病気による 死亡・高度障害 {死亡}保険金 高度障害	不慮の事故ま たは法定伝染 病による死亡 災害保険金 プラス死亡保険金	不慮の事故で 別表の障害を 受けたとき 障害給付金	不慮の事故で入 院したとき 5日以上120日まで 入院給付金
	保険 金額	月額 掛金				
2 □	100万円	630円	100万円	200万円	100万円～10万円	入院 1日につき 1,500円 3,000円 4,500円 6,000円 7,500円
4 □	200万円	1,260円	200万円	400万円	200万円～20万円	
6 □	300万円	1,890円	300万円	600万円	300万円～30万円	
8 □	400万円	2,520円	400万円	800万円	400万円～40万円	
10 □	500万円	3,150円	500万円	1,000万円	500万円～50万円	

注) 1. 最低保険金額は100万円です。尚、新規加入、増額は100万円単位です。

2. 掛金は年齢に関係なく一律です。

◎加入資格

。商工会議所会員事業所の事業主およびその従業員（家族従業員を含む）で14歳6カ月をこえ55歳6カ月以下の方は最高500万円、55歳6カ月をこえ60歳6カ月以下の方は最高300万円加入できます。但し、加入後65歳6カ月以下までは、100万円であれば毎年契約を更新できます。

◎保険期間

。保険期間は1年間（4月1日から3月31日）で、期の途中で加入したときは効力発生日から3月31日までで、以後毎年4月1日に更新して継続します。

◎加入手続き

- ・この制度に加入されるときは、商工会議所備えつけの加入申込書により申し込んで下さい。
- ・この制度の掛金はすべて初回から預金口座

よりの自動振替となります。

（お問合せ先）函館商工会議所経理会員課

☎23-1181

◎委託機関

（幹事）

- 三井生命保険(相)函館支社 ☎54-5161
- 大同生命保険(相)函館支社 ☎23-4541
- 日本団体生命保険(株)函館支社 ☎55-1777
- 千代田生命保険(相)函館支社 ☎22-5191
- 東邦生命保険(相)函館支社 ☎51-3322
- 住友生命保険(相)函館支社 ☎55-0311
- 第一生命保険(相)函館支社 ☎55-1131
- 明治生命保険(相)函館支社 ☎22-4723
- 日本生命保険(相)函館支社 ☎26-2121

現在9社の委託機関が、加入について本制度の説明を兼ねて会員事業所へ訪問いたしておりますので、その際は内容を十分検討の上、是非加入されますようお願い申し上げます。

はこだて人物小伝

我が国写真界の先達

「田本研造」

明治二十一年十一月十六日付の函館新聞によれば、「二本区長外七名は配水池に赴き検分した。また昼十二時写真師、田本研造氏をして、全容を撮させた。」と記している。

なお赤沼、沈澱池、配水池等の水道関係の全景を撮影した田本研造の写真は関係者一同に贈られた。

ことしは函館市水道局が創設百年を迎える。田本研造は、天保二年（一八三一）三重県能野市に生れ長崎に遊学した。当時心ある者は蘭学を心ざした。その本拠地で化学をも学び写真に接することとなるが、長崎で学んでいた研造が箱館に来たのは、通詞いわゆる通訳に同行してきたのである。時に安政六年のことであった。

ところが悪性の瘰癧にかかりロシア領事館の医師ゼレンスキーに治療を受け右足を切断した。この時にゼレンスキーから写真の技術を本格的に学んだという。

北海道新聞の桑島氏の調査によれば箱館戦争に参戦した幕軍将士の写真が数多く市立図書館に所蔵されているが、特に新選組の土方とフランス軍人が人気を集めている。これも

研造の撮したものでだろうと言われているのである。

函館最初の写真師木津は、箱館府知事清水谷公考と共に上京している。研造は明治二年末広町に北海道で初めての写真館を千五百円をかけて建造しており、現存する写真をみてもわかるが豪壮なもので大いに繁盛した。

前記の水道以外にハリストス正教会や遺愛女学校等、また明治四年開拓使の依頼で道央の開拓状況を門弟の井田倅吉と共に撮影しているが、門弟のなかで最も有名なのは札幌の武林盛一である。

函館は開港地のため諸外国との交流があり西洋文明に接する機会も多く、我が国における写真の草分けである木津孝吉、横山松三郎等の人物を多く輩出したのである。

研造は、大正元年、八十一才で死亡したが、彼の名は撮した写真と共に永遠に残っている。

（近江幸雄）



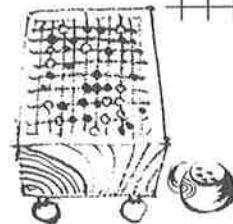
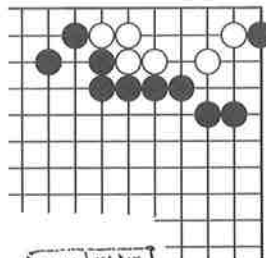
有段を目指して

出題 本因坊 武宮正樹

● 黒先白死・9手まで

● ヒント……3手目が好手、難問です。

5分で3段、3分で高段者。



詰将棋

● ヒント……3三銀が動くと玉が上部に出てきそうですが、10分で2級、5分で有段者。

出題 八段 北村昌男

持駒 桂香

6	5	4	3	2	1	
			飛	銀	皇	一
					王	二
		角	銀	香	香	三
			香	香		四
						五
						六
						七
						八
						九

（正解は20ページ告知板にあります）